

特定健診・保健指導研修会で講師を担当されている 先生方を対象としたアンケート調査結果報告

あいち健康の森健康科学総合センター
健康運動指導士 三浦康平

背景：昨年、当研究班により、研修会企画者と講師との事前の打ち合わせ不足や他機関との連携不足、参加者のレベルに合った研修会ができていない等の課題が明らかとなった

目的：研修会企画・運営段階での課題抽出と改善策に向けて、企画者側からの依頼状況や打ち合わせ、評価等を把握するため

対象：過去3年間（H24～H26年度）で特定健診・保健指導にかかわる研修会（インターネット上で拾える範囲）において講師をされた方

方法：研究趣旨とアンケートを送付し郵送、FAX、メール返信にて回収・集計

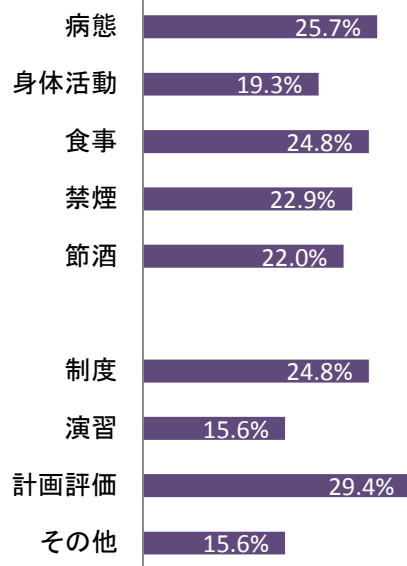
回収率：62.2%（109名／175名）

アンケート調査 質問項目一覧

1-①	年間およそ何回程度の講師を担当されましたか。
1-②	担当した講義内容について教えてください。(複数回答可)
2-①	講師を依頼された経緯を教えてください。(複数回答可)
2-②	研修会の経緯・ねらいについて事前に説明はありましたか。
2-③	企画者との事前の打合せ(電話・メールでも可)があった場合について内容を教えてください。(複数回答可)
3-①	研修会で使用する資料はどのように準備されていますか。(複数回答可)
3-②	研修会の対象者に合わせて内容を変えていますか。
4	研修会のフィードバック(当日アンケート、保健指導効果の向上等)はありましたか。
5	研修会講師を担当するにあたり、お気づきの点や改善した方がよいと思われることについてご記載下さい。

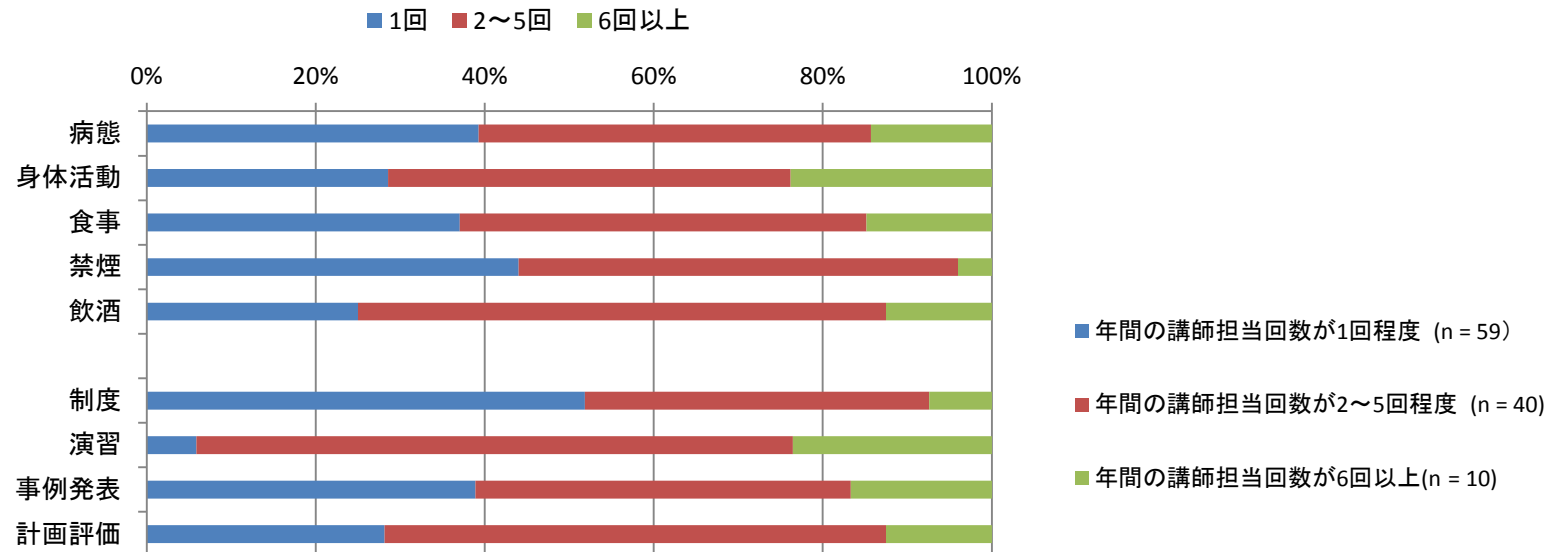
担当した講義内容について

(n = 109)



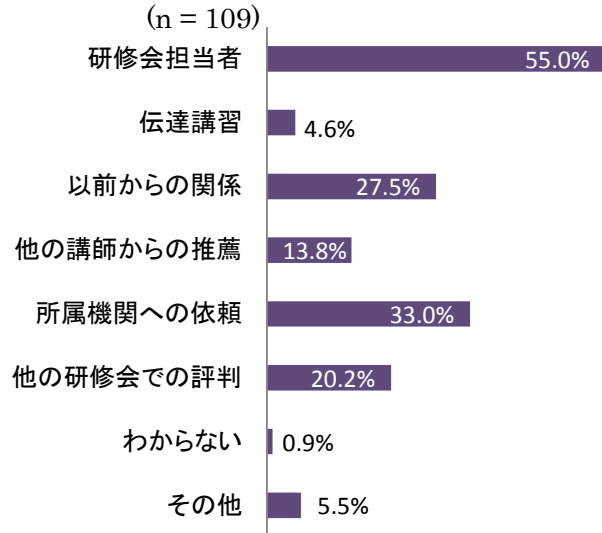
その他【自由記載】

- ・歯科分野(歯の健康と医療費調整、
歯と肥満の関係、
歯周病と全身疾患)
- ・リスク管理
- ・保健指導技術(コミュニケーション技法)
- ・保健指導の品質管理
- ・アウトソーシング



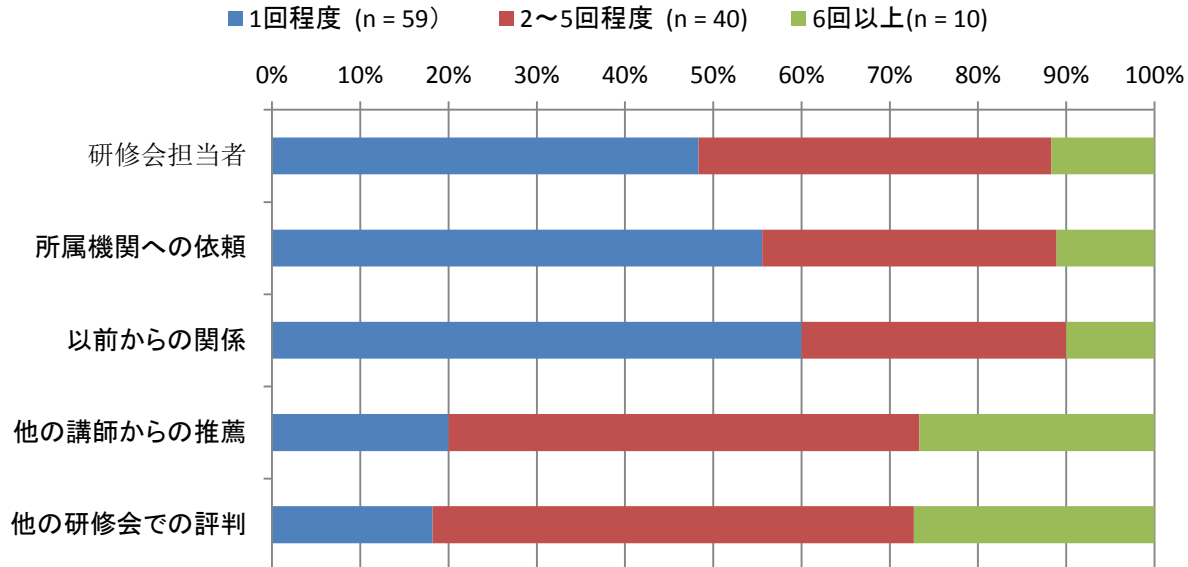
制度の説明は回数の少ない講師が多いが 演習担当は経験者が多い。

講師の依頼経緯について



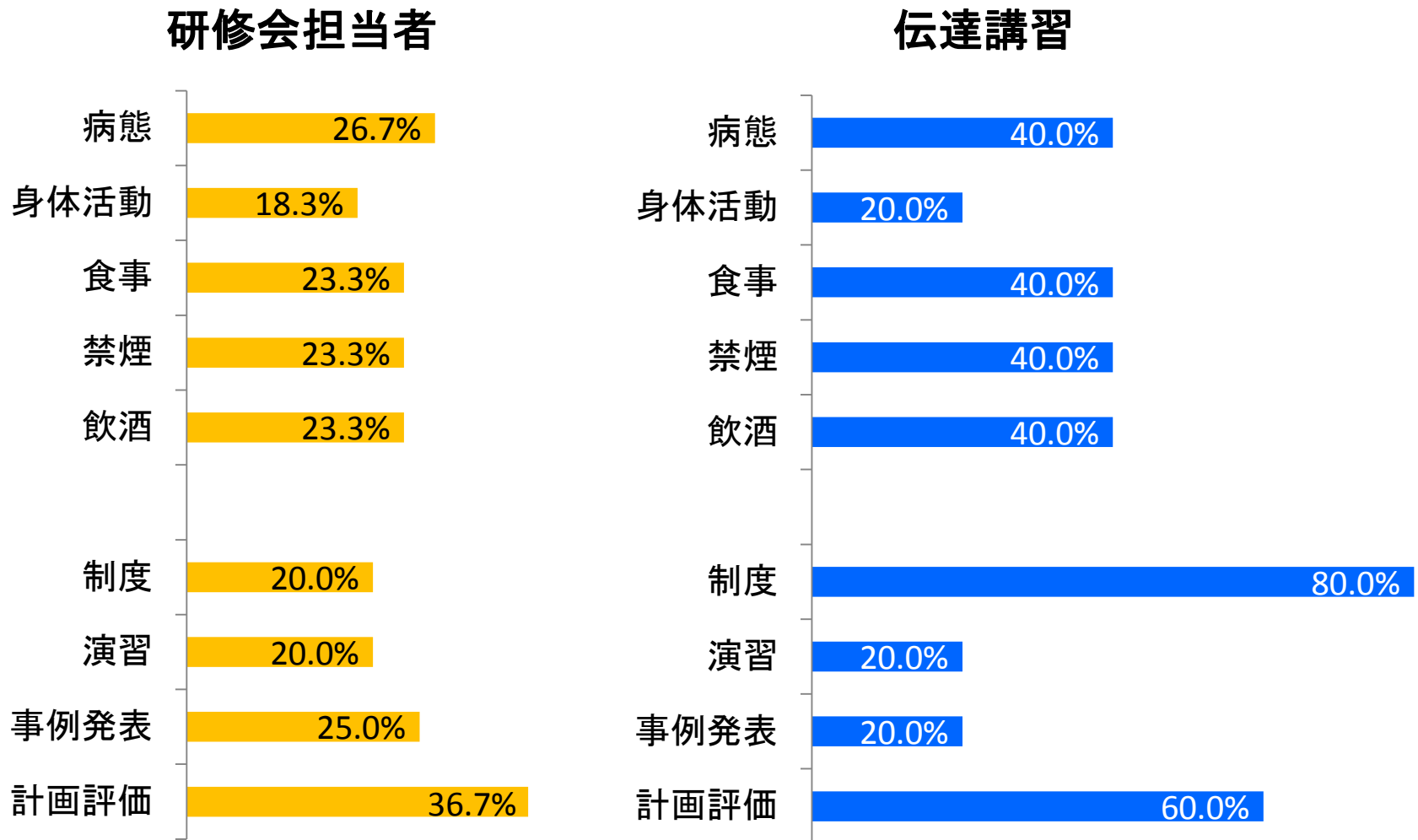
その他【自由記載】

- ・所属課主催研修会で例年、国立保健医療科学院研修参加者が復講を兼ねて講師を担当する。
- ・ホームページの研修会報告書閲覧者からの依頼。
- ・県栄養士会からの推薦を受け、県庁から依頼。
- ・適当な講師がいなかったため研修会企画を担当した保険者協議会事務局で担当した。
- ・研修会に参加する条件として、講師をすることとなっている。



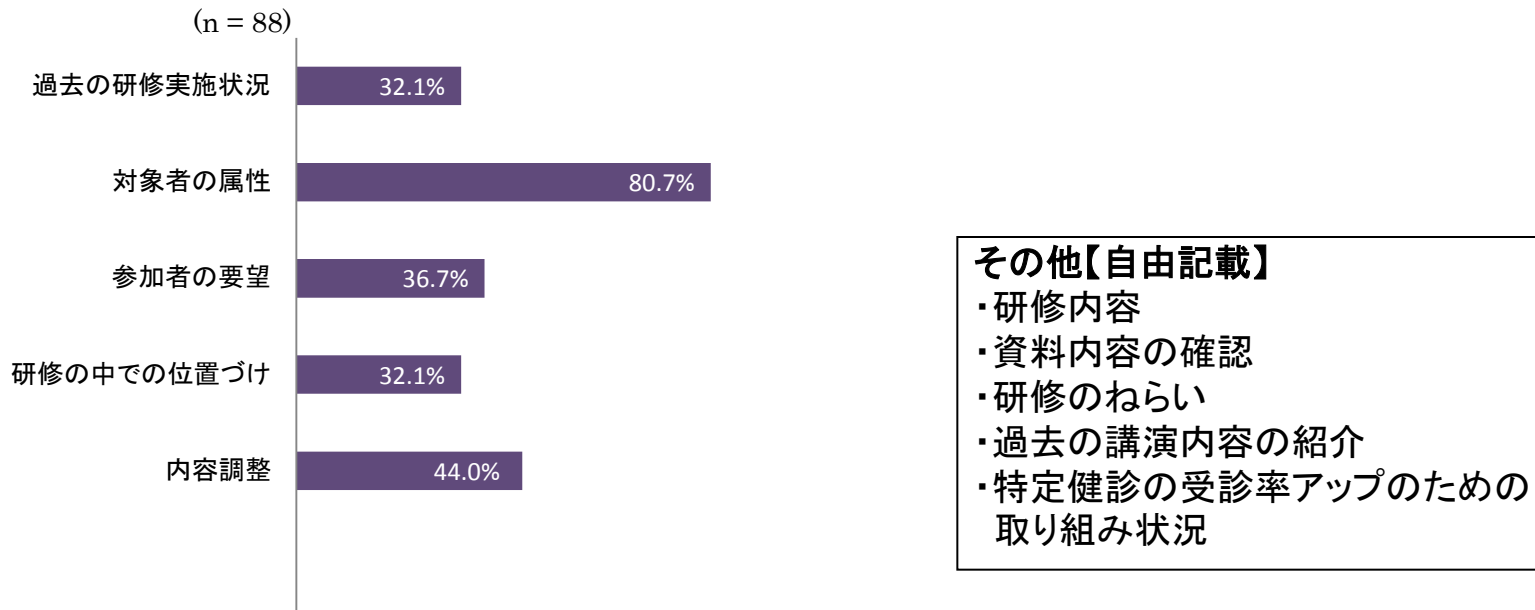
研修会担当、所属への依頼は初回講師が多い、評判、推薦は回数が多い講師が多い

研修担当者、伝達講習で実施した内容

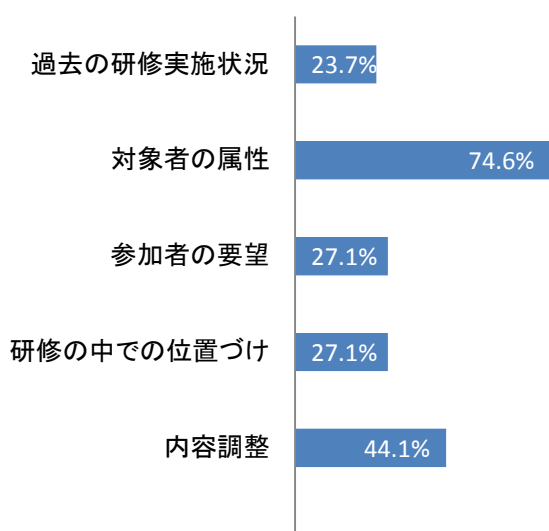


研修会担当者は万遍なく担当している(補足的な役割?)。
伝達講習では 制度の説明、計画評価が実施されている。

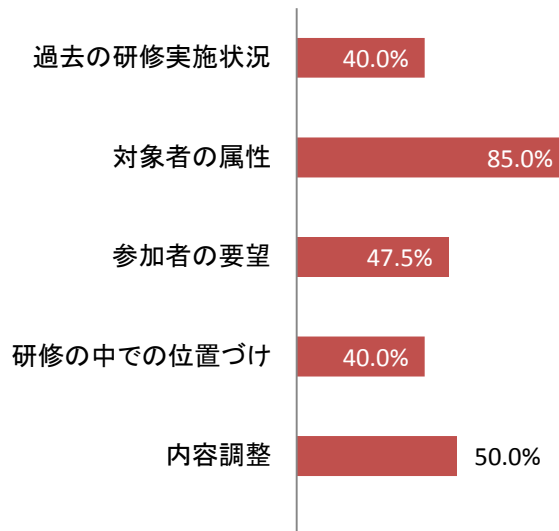
企画者との事前打ち合わせの内容について



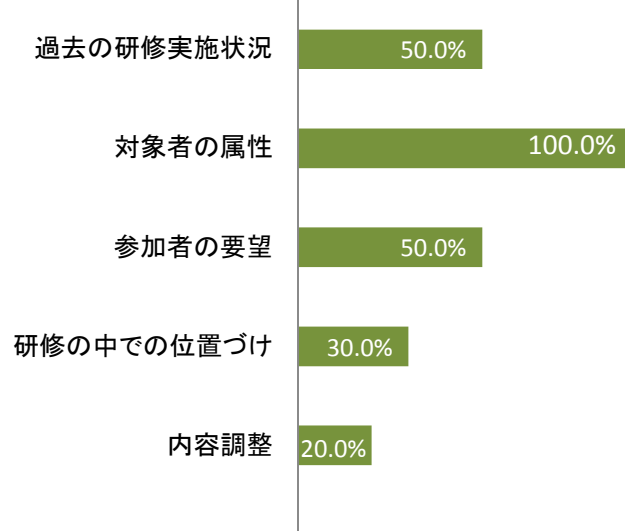
年間の講師担当回数が1回程度 (n = 55)



年間の講師担当回数が2~5回程度 (n = 33)



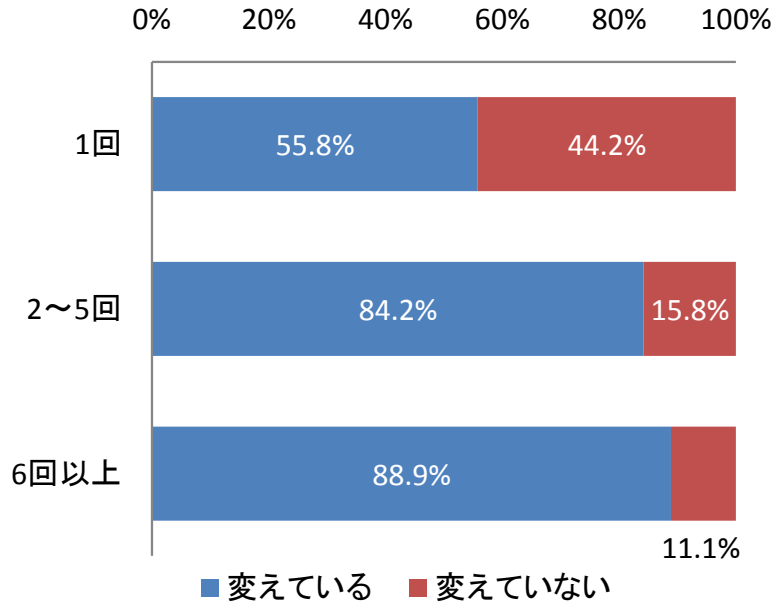
年間の講師担当回数が6回以上(n = 10)



担当回数が多い講師ほど企画者と事前の打ち合わせを密に行っている

当日の講義内容について

Q2: 研修会の対象者に合わせて内容を変えていますか。



どのように変えているか【自由記載】

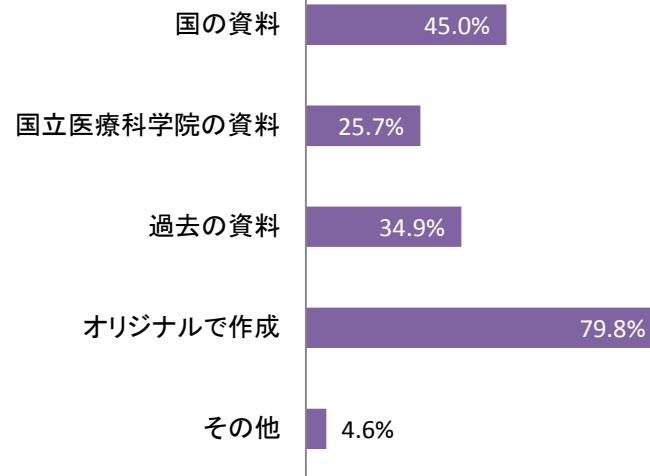
- ・講義、演習での事例の使い方
- ・カリキュラムの時間配分
- ・参加者の状況やニーズに即した内容
- ・制度の改正(最新の情報を追加する)
- ・専門職種の割合によっては概要説明に+αの情報提供
- ・対象者の経験に合わせて話すスピードをゆっくりにし、振り返りを適宜入れた。
- ・歯科分野の重要性を盛り込む。

担当回数が増えるにつれ、対象に合わせて内容変更を行っている

当日の講義内容について

Q1: 研修会で使用する資料はどのように準備されていますか。

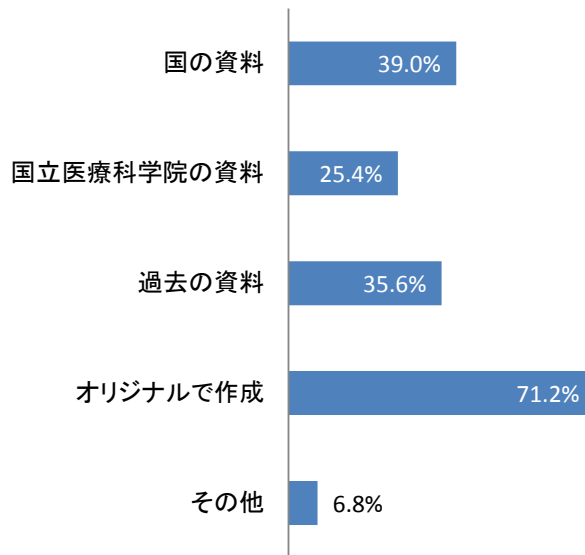
(n = 109)



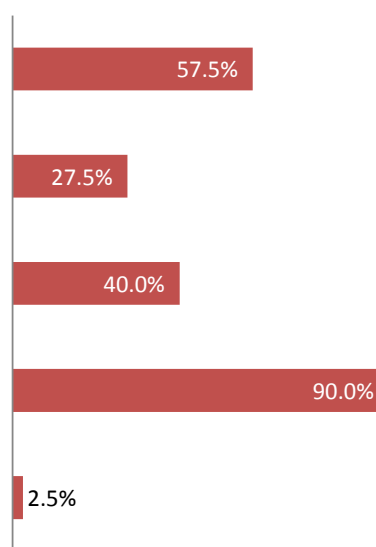
その他【自由記載】

- ・過去の厚生労働科学研究の研究結果
- ・自主的学習会作成の資料
- ・自治体の資料

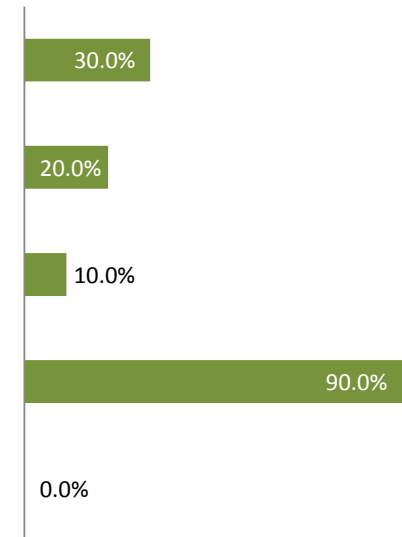
年間の講師担当回数が1回程度 (n = 59)



年間の講師担当回数が2~5回程度 (n = 40)

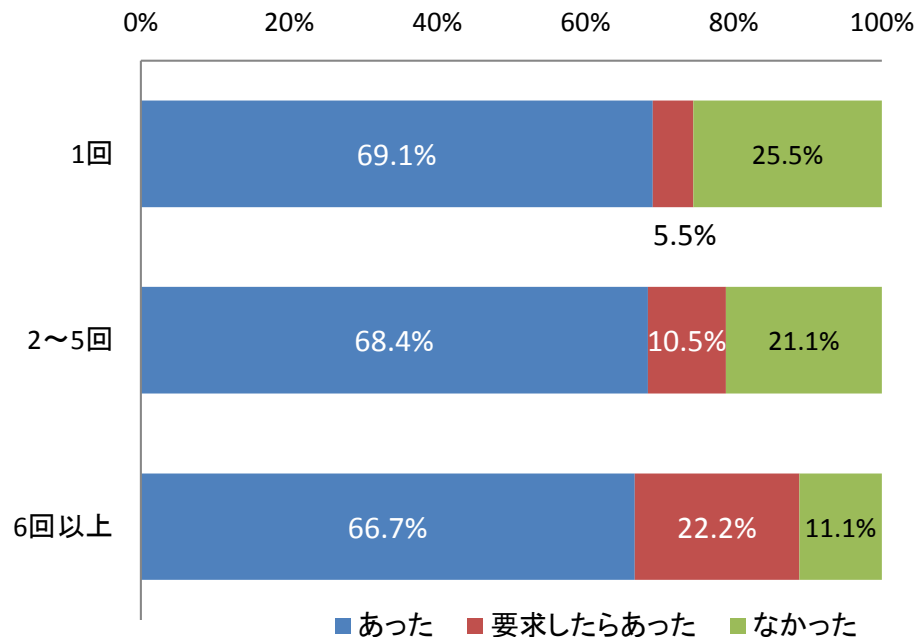


年間の講師担当回数が6回以上 (n = 10)



担当回数が多い講師ほどオリジナルの資料を準備し、過去の資料を用いることが少ない

研修会のフィードバック (当日アンケート、保健指導効果の向上等)について



担当回数が多い講師ほどフィードバックを重要視している

研修会講師を担当するにあたり、 気づいた点や改善した方がよいと思われること

準備・企画段階

- ・研修参加対象者の視点に立って、各講義内容が一貫していることが重要。
- ・担当者の認識と参加者のニーズとが一致していないといい研修につながりにくい。
- ・事前に参加者からの質問内容があると準備の参考になる。
- ・課題やニーズ、主旨説明がないうちに日程調整されること。

対象者

- ・複数の職種を同じ研修会で話を進めていくことに難しさを感じる。
- ・専門職の中には予算等についてあまり理解されていないことが多々ある。各種事業を進めていくためには、事務職員としての視点も重要。専門職とはいえ、そのような学習をする機会も必要ではないかと感じる。
- ・参加者の力量・技量は、研修だけでは把握しづらいため、必ずロールプレイや健診結果から指導内容の確認をする。

コンテンツ

- ・症例の検討が必要。特定保健指導の合理化のためにはマニュアル化も必要だが、個別のケースに対応するためのポイントを教授する必要がある。
- ・多量飲酒者への飲酒指導の話をして、質問はアルコール依存症への介入が多く、目的とのギャップを感じる事がある。
- ・身体活動の講義は、実技を行うことも少なくなく、少しでも広い場所が必要であり、舞台があることが望ましい。

フィードバック

- ・担当する時間内に収めきれないニーズがある依頼に対し、それにもかかわらず、フィードバックがない場合や優先順位を尋ねても『全て』と言われる場合に改善の必要性を感じる。

その他

- ・講師のためのスキルアップ研修が必要。
- ・より良い支援者を増やすためには、定期的なスキルアップ & チェックをシステム化するなどの方策が必要では。
- ・「保健指導はコーチングで行うもの」と思い込んでいる保健指導従事者が多い。
- ・継続した講習や研修に参加し、スキルアップする必要があるが、一度でも実施すると、それで良いかのように誤解される危険がある。